医療費増加の構図

医　療　費　の　増　加

要因分析

主要因は老人医療費の増加

（老人増
1人当たり老人医療費＝若人の5倍）

（1人当たり老人医療費は都道府県により大きな格差（平均75万円、最高：福岡県約90万円、最低：長野県約60万円））

1人当たり入院医療費の増（寄与度の約5割）

1人当たり外来医療費の増（寄与度の約5割）

病床数の多さ（平均在院日数の長さ）

生活習慣病を中心とする外来受診者の受診行動

在宅（自宅でない在宅含む）療養率の低さ

内臓脂肪型肥満に起因する生活習慣病患者・予備群の増加

取組の体系

・医療機能の分化・連携

急性期
回復期
療養期
在宅療養

連携

介護提供体制

・地域における高齢者の生活機能の重視

生活習慣病対策

①保険者と地域の連携した一貫した健康づくりの普及啓発

②網羅的で効率的な健診

③ハイリスクグループの個別的保健指導